

研究終了報告書

厚生労働科研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
（分担）研究年度終了報告書

嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズム等作成のための研究（ 20GA1004 ）

嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズムに紐づいた情報関連シートの作成

研究分担者 西村美里

昭和大学認定看護師教育センター講師

研究要旨

医療機関から介護施設や在宅へ、または介護施設や在宅から医療機関へ情報提供する際に、嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズムに紐づいた情報関連シートを作成した。

A. 研究目的

診療記録では嚥下機能や食事形態、服用薬について情報共有がなされているが、服用方法に特化した情報共有はほとんどないため、嚥下機能低下に伴う服薬困難に対応するためのアルゴリズムを作成するにあたり関連する情報を共有するシートを併せて作成することとした。

B. 研究方法

既存の診療記録の内容や看護サマリに記載されている内容を整理し、嚥下機能に関連する情報と服薬方法に関連するものを抽出した。またアルゴリズムに関連する情報で不足している物を追加項目に入れて、①医療機関から介護施設や在宅へ情報共有するシートと②介護施設や在宅から医療機関へ情報共有するシートの2種類を作成した。作成したシートは研究グループメンバーで検討し、アルゴリズムの作成と並行して共有する情報の項目を精選する作業を繰り返し行った。

（倫理面への配慮）

該当なし。

C. 研究結果・考察

①医療機関から介護施設や在宅へ情報共有するシートでは、医療機関で実施可能な検査結果等より、入所時または退院時にすぐアルゴリズムを適用できるように項目を作成した。その他の診療記録と重複するものに関しては、どの記録を参照するのかを明確にするよう注意事項を設けた。

②介護施設や在宅から医療機関へ情報共有するシートでは、職員の労力を考慮して他の診療記録と重複する項目は省略し、アルゴリズムに則って服用方法を見直した内容を着実に継続して医療機関でも実施できる項目のみで構成した。①と②は共に該当する項目にチェックを入れる形式とし、記述する項目は可能な限り少なくなるようにした。また、QRコードを利用してダウンロードできるよう、利便性の点からも工夫をした。

E. 結論

情報共有シートは、①医療機関から介護施設や在宅へ②介護施設や在宅から医療機関への2種類を作成した。

F. 健康危険情報

特記なし

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表 特記なし
2. 学会発表 特記なし
（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）特記なし

1. 特許取得 特記なし
2. 実用新案登録 特記なし
3. その他 特記なし